



長野県難聴児支援センター ニュースレター

平成30年
第15号



長野県保健・疾病対策課

信州大学医学部附属病院耳鼻咽喉科

♪ゆ〜きや こんこ あ〜られや こんこ♪ この季節、いろいろな場所で「雪」の歌を耳にします。先日訪問した園でも、先生がこの歌詞の意味を丁寧にお話ししながら、子どもたちは元気に歌っていました。つい「こんこん」と口ずさんでしまいがちですが、正しくは「こんこ」なんですね！

「へ〜そうなんだ…」と感心していると、「だって『コンコン』だとキツネになっちゃうよ！」と子どもが教えてくれました。「『こんこ』はね、『ここにふれ、おいで！』ってことなんだよ！」

ことばの意味や理由を知ることで、覚えやすくなることってたくさんあります。テレビやスマホ等情報が映像となって瞬時に受け取れる便利な世の中ですが、こんな「これはね…」という口伝も大切にしていきたいですね。



新生児聴覚スクリーニングの周知・理解にむけて

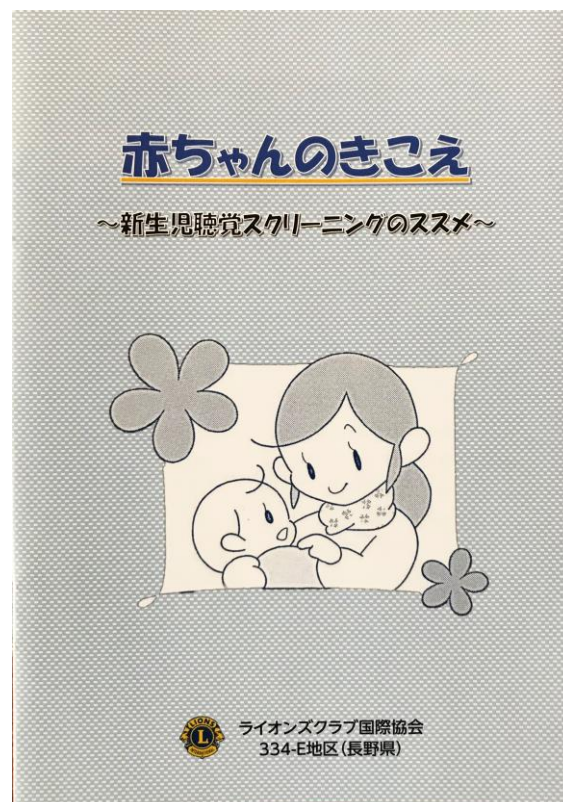
新生児聴覚スクリーニングを通して、赤ちゃんのきこえにくさを早期に発見する取り組みが、関係各機関の皆様のおかげで進められています。県内では現在99%近くの実施率となっております。

しかし、検査を希望されない方も毎年200名ほどいらっしゃいます。新生児聴覚スクリーニングの意味について、広く知っていただけるよう取り組んでまいります。

その一環として、ライオンズクラブ様のご協力のもと、小冊子を作成し、各市町村等に配布させていただいております。

- ◇新生児聴覚スクリーニングの重要性
 - ◇検査の方法や結果について
 - ◇「リファア」または「パス」と言われたら
- 等、必要な情報をコンパクトにまとめました。

今後も、各機関と連携しながら情報を発信していきたいと思っております。（お問い合わせはセンターまで）





1月「ファミリーセミナー」開催

1月27日(土) 後期第3回目のファミリーセミナーを開催しました。今回は、「ことばを育てる」と題して、人工内耳センターの北野庸子先生よりお父さんお母さんが家庭でできる「音の発見」「赤ちゃんが聞きやすい話しかけ方」「やりとり遊びを楽しむおもちゃ・絵本」など具体的な場面を通してお話いただきました。

音の出るおもちゃを使って、「あっ！きこえたね！ブーブだね！」と参加者みんなで自分の耳を指さして実演したり、

『ショウボウシャ』と名称を伝えるか、『ウ～カンカン』と音を伝えるか？とお父さんお母さんからの疑問をみんなで考えたりしながら、あっという間の2時間となりました。

赤ちゃんに聞こえやすい声は…「なるべく静かな環境で」「抑揚豊かに」「短い文章で」「擬音語擬態語をたくさん使って」「ご自分の耳を指さして」「繰り返し」そして「楽しみながら」と、北野先生より教えていただきました。「今日からやってみよう！」と明るい表情で帰られるお父さんお母さん方でした。

子育て親育ち、みんなで一歩一歩の成長を認め合いながら進んでいきましょう！



後期 第4回 ファミリーセミナーのご案内

先輩ママからの子育て体験談

- 1 日時 平成30年 2月24日(土) 午後1:00~2:30
- 2 場所 長野県難聴児支援センター 『多目的室』
- 3 講師 **立花 祐子さん** (小学6年生Rくんのお母さん)
- 4 内容
 - ・ 出生から幼児期にかけて (家族の思いと実践)
 - ・ 幼児期から学童期にかけて (学校との連携)
 - ※ 「福祉や教育」について (療育支援員より)
- 5 参加費 **無料**

※事前に電話等でお申し込みください





支援センターより 季節のあそび『かるた』のご紹介

1月から2月のこの時期、書店やおもちゃ屋さんにはたくさんの「かるた」が並んでいます。昔ながらの「犬棒かるた」もありますし、かわいいキャラクターのカルタもあります。多くのかるたの中から「ことばやしこえ」という観点から3つ、子どもとの遊び方も交えながらご紹介いたします。(中には、ひと昔前の教材で現在は購入しにくい物もありますが「こんなかるた・遊び方もあるのか…」と参考にいただければと思います)

「たのしい ことば かるた」

村石昭三 監修 (すずき出版)

このかるたの特徴は、絵札に㊦などの「頭文字」がないことです。最初の「一文字」だけを探ることができないので、読み札の全文をしっかりと聞いて、絵に描かれている情景と合わせる力が必要になります。子どもの成長に合わせて、読み方を変えることもできます。ひらがなを探すことが得意な子も、聞こえてくることばをイメージしながら→考えるということが、遊びの中で自然にできますね。



「行事かるた」

新谷尚紀 監修 (ポプラ社)

「明日と明後日、2回お休み！」を楽しみにできるようになると、「どうしてお休み？」ということにも興味を持つようになります。大人との雑談やニュースなどで聞き覚えるこうした年中行事の名称や由来は、難聴児にとって聞き落とししやすいことが多いです。そこで、遊びを通して「聞き馴染む」「どうして？」を一緒にやりとりすることができるのがこのかるたです。また、春夏秋冬の4色に分かれているので「季節・一年」を感じるきっかけにもなります。



「難聴理解かるた」

ふじもとゆうこ 作 (難聴児支援教材研究会)

通級指導教室を担当されていた作者が、難聴のお子さんとかかわりのある先生、クラスメイト、保護者の方々に「きこえにくい」ということがどんなものなのかを知って欲しいと制作したかるたです。「いっぺんに話をされるとお手上げです」「連絡は書いてくれると見てわかる」等々、教室で困っている場面を具体的に学び合うことができます。小学校で活用されている所も多くあります。





補聴器の「結露」にご注意ください

夏場は「汗」への配慮が各所でされていますが、この時期は「結露」への対応も気を付けていきたいところです。

チューブやフックの所に結露が溜まると、音が出ない、音が小さくなる、ポワンとこもった感じ…等の症状があります。

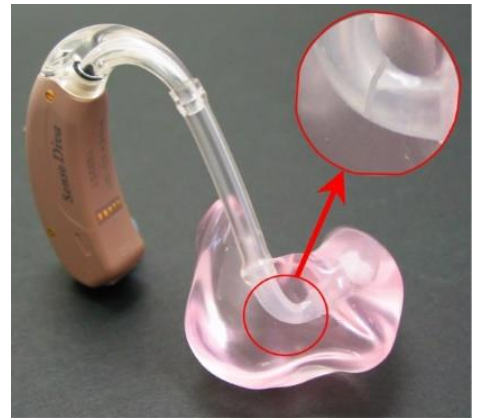
結露の原因は、チューブ内の空気（体温）と外気との温度差にあると言われています（個人差もあります）。

「聞こえにくいので、電池を変えたのに聞こえない」といった場合、チューブを見てみることも必要です。

対策は、「防滴チューブ」というものがありますし、この原理からチューブ内に木綿糸を入れることで効果が得られるとも言われています。

結露が頻繁に見られる場合には、お近くの補聴器店でご相談ください。

補聴器を快適な状態に保ちながら、季節に合ったたくさんの音や声に出会っていきましょう。



みみよい情報

◇雪あそびグッズ「耳あて付き毛糸帽子」



「外での雪遊びの時は、補聴器を外した方がいいでしょうか？」というご相談をお受けします。雪で濡れてしまうことや、雪合戦など不意に雪玉が当たることを心配されてのご相談です。「雪遊び中の友だちの声や先生の指示」も大切な情報ですので、「耳あて」の付いた帽子をお薦めしています。暖かく、生地も厚すぎず、補聴器も守れるので、とても便利です。今は、かわいいデザインの物もたくさんありますね。

長野県難聴児支援センター

TEL:0263-34-6588

FAX:0263-34-6589

Mail:mimi@shinshu-u.ac.jp

住所：松本市旭 2-11-30 松本旭町庁舎 2 階

支援療育員；丸山秀樹

※ご相談、お問い合わせ等
お気軽にご連絡ください

